

AMDAが報告会

社会開発機構 現地での取り組みなど

国際医療救済団体「AMD A」グループのAMD A社会開発機構は30日、北区で活動報告会を開いた。駐在員としてミャンマーで働く鈴木梓さん(33)とアフリカ・ザンビアで活動する工藤ちひろさん(45)が現地の取り組みについて説明、約50人が熱心に聴いた。

「AMD A」グループのAMD A社会開発機構は30日、北区で活動報告会を開いた。駐在員としてミャンマーで働く鈴木梓さん(33)とアフリカ・ザンビアで活動する工藤ちひろさん(45)が現地の取り組みについて説明、約50人が熱心に聴いた。

鈴木さんは、ミャンマー中部で住民の健康増進を目指す「健康な村」プロジェクトをた。工藤さんはザンビアでの結核の正しい知識を普及するため、貧困地区で活動する結核サポーターの取り組みを説明した。工藤さんは「小児で結核にかかることも多く、今後は結核教育の充実を図って予防していきたい」と話した。

【石井尚】

ミャンマー「健康な村」プロジェクト

トイレ設置など計画から住民主体で

